

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝石箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター いせきくん、やよいちゃん

9 ふたご 二子の普光寺太鼓楼

今月は普光寺の太鼓楼を紹介します。



▲150年近く地域を見つめて来た建物



【クイズ】

この太鼓楼はどのようなとき打ちならされたのでしょうか。

- ① 盆踊りのとき
- ② 時刻を知らせるとき
- ③ 寺の集まりを知らせるとき

落ち着いた町並みが続く二子地区の一角を歩いていると、緑になった大きなお寺の屋根が見えます。思わず誘われて、細い路地に入りお寺に向かうと、一見、お城の櫓のような白い楼閣が現れます。このお寺では鐘つき堂がこれなのかなと思わせます。住職さんにお聞きすると、この楼閣にはかつて太鼓楼が架かっていた、太鼓楼ということなのです。

太鼓楼といえばお城にあって、時刻を知らせたりしていたのはよく聞きます。しかし、お寺にある太鼓楼の場合は、お寺の集まりごとがあるときに打ちならされたとのこと。それも、集まりの内容によって打ち方に違いがあったと言われています。

普光寺の今ある太鼓楼は明治時代に建てられました。この白い姿は当時も村の中にあって印象的であったと思われる。何か、心洗われるものを感じます。なお、お寺として太鼓楼を建てるのは限られていて、この近隣では、姫路市の本徳寺や神戸市の金勝寺にあります。それぞれ、地域の方とお寺とを結びつけるべく、太鼓楼がなっていました。

そのように地域へ様々なことを伝えてきた太鼓楼はこの建物に今はなく、ただ地域の歴史を語るだけです。建物が醸し出す趣はなおも地域のシンボルと言えます。

ある方が「文化財は花と同じで、自分では語らないが、心が通じると、様々な表情で語りかけてくる」と言っていました。この建物も、見つめていると、当時、太鼓が伝えてきたことをそれとなく語っているようにも思われます。

(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ③寺の集まりを知らせるとき

